

# 植林特集号 Vol.2

## インドネシア植林 2008

### ～植林2年目を迎えて～

植林継続  
昨年植えた苗は  
東南アジア初出張記  
滞在記

1  
2  
3  
4



(植林の看板)



(大本真寿男が昨年植えた苗)

## 植林継続

## 地球環境を守る

我々が暮らしている地球は、地球温暖化などの環境問題が深刻となっています。2008年7月7日から開催された洞爺湖サミットにおいて各国が温室効果ガス削減50%と表明した一方で、新興国(5ヶ国)においては合意不可。これを重く受け止め、今我々に何が出来るかを考え一人々が努力していく事が最も重要だと考えています。

現在当社が進めている植林活動は昨年に続きインドネシア西スマトラ州パニンガハン村に、合計41haを3年間で植林していくものですが、終了後も植林場所を移動しながら継続していきたいと思えます。継続する事で荒廃地も緑の大地へと生まれ変わりCO2の削減への重要な一歩だと確信しています。また植林するだけでは地球がジャングル化となってしまいますので、伐採も行い木材の温もりがある資材へと生まれ変わる様に工夫していきます。

私にとって、このたびの植林は大変有意義な体験をさせて頂き、自然とのふれ合いを肌で感じ、昨年植林された苗の生長の早さを実感出来た事に感動と感謝を致します。来年も継続して植林が実施出来るならば、自分自身の手で植林を行い数年後に伐採、木製パレットに生まれ変わる時には、次の世代へ引継ぎ更なる地球環境問題に貢献出来ると思えます。

当社が『ユニバーサル会社』になるための第一歩です！！

(SCM本部 中嶋克宏)

# インドネシアでの植林が2年目を迎え 昨年植えた苗も大きく成長しました。

## 昨年植えた苗は

昨年植えた苗がこんなに大きくなりました



1年後



(昨年苗を植えているところ)

(大きく成長した苗)

当社では昨年より環境への取り組みの一環として、国際緑化推進センター(JIFPRO)を通じ、インドネシアのパニンガハン村(インドネシア 西スマトラ州 パダンから車で約2時間)にて植林を実施しています。

昨年14ha、今年13ha、来年14haの合計41ha(東京ドームの約9倍)の植林を計画しています。

昨年の6月に社長他数名が記念式典参加・記念植樹を行なうため、現地を訪問しました。その後、地元住民が77名参加してマホガニー・スリアン他を植栽し管理してくれていました。

そして訪問から1年が経ち、さる6月22日に昨年の植林木の生長確認と今年の植林地視察の為、4名が現地を訪問しました。

パニンガハン村ではプロジェクト・マネージャー、コーマネー

ジャー他、住民の方に暖かく迎えて頂きました。コーマネージャーの案内で、植林地域の山を登りながら、すくすくと育っている木を確認し、今後の計画等について説明を受けました。

私達が昨年記念植樹した木も確認しました。順調に育っており、120mm程の木に成長していました。

植林は苗木を植えても、実際に育つ木はわずか10分の1とも言われています。そんな中、植林地の周りに道を作り、火事にならないよう留意されており、地元住民の理解と協力の下、丁寧に実施されていました。

今後も植林木が順調に育ち、環境の為・地元住民の生活が豊かになる為に役立つよう願っています。

(SCM本部 成松静佳)



(コーマネージャーのAlimin氏)



(現地の方との懇談の様子)

私達uprは、  
これからも熱帯林保護・再生のために  
苗を植え、苗の成長を見守り続けていきます。



upr UPR Corporation

選べるパレット 探せるパレット  
レンタルパレットの未来を切開く

## 東南アジア初出張記

驚き・感動・危険もいっぱい



(植林を終えての集合写真)



(マーライオン)

◎6月19日、話題の最新鋭機A380で、シンガポールへ向けて成田を出発。もちろんエコノミーでしたが、革張りシートのうちよちよちと広がったような気もしました。それにオンデマンドのAVは200番組以上もあって大満足。

◎20日、メダン(インドネシア)の協力工場へ車に分乗し出発。暴走運転(インドネシアでは安全運転らしい)で約1時間半で到着。工場見学より車の移動で疲れる。

◎21日午後、クアラルンプール(マレーシア)へ移動。運転マナーと道と街のきれいさに感激。インドネシアとマレーシアは隣国なのに発展にかなりの差を感じた。

◎22日、いま超低価格で話題のエア・アジアでパダン(インドネシア)へ。自由席の飛行機に初めて乗ったが、満席で乗れるか心配になった。そしてパニングハン村に移動しいよいよ植林。現地時間約2時ごろパダンへまたまた暴走運転で移動。ほかのみなさんは植林現場までの山登りが辛かったそうであるが、私には暴走運転のほうが辛かった。

◎23日、またまたエア・アジアでクアラルンプールへ出発。8時30分出発の飛行機が“満席になったので”と定刻の20分も前に出発して驚く。きれいな高速道路・幹線道路で工場見学へ。安心の運転でしばしの間熟睡。工場見学・検品後、ペナン(マレーシア)泊。

◎24日、リゾート地ペナンということで、早起きするも土砂降りの雨で散歩断念。ちよっとおなかの具合が良くなり不安に。協力工場見学後シンガポールへ移動。

◎25日、体調悪いなかマーライオンだけは見ようと散策。その後いよいよおなかの具合が・・・出発まで空港で撃沈。深夜25時、名古屋セントレアへ向けて出発。

◎26日9時前、無事名古屋セントレア到着。

◎追記 その後7月3日までほとんど食事ができないほどの状態へ。体調を崩した原因は特定できませんが、氷入りのジュースとカットフルーツは要注意です。

(名古屋営業所 村尾修司)



(山登りの様子)



(上：最新鋭機 A380) (下：乗れるか心配だったエア・アジア)

今回は、昨年の植林地を視察し木材の成長の早さを実感しました。実際に現地の方との打合せや植林現場を訪問視察して自然の美しさに感動しました。現地の人々も私達の植林活動を参考に植林を行っているようです。今まで伐採された荒廃地が徐々に緑色の絨毯に敷き詰められる日を期待し協力したいと思います。また、インドネシア、マレーシア、シンガポールと当社の木製パレット調達先である工場をしてきました。各工場とも日本と製造方法の違いなどを実感しました。車窓から見る風景(特にインドネシア)においては、右から左から次々と車を抜いて行き暗黙の了解なのか抜く際はクラクションを2、3回鳴らしていました。とにかく交通は危険でいっぱいでした。料理はやはり肉骨茶(バクテー)ですね。これは港湾労働者の食事らしくいろんな薬草で煮込んだ料理です。見た目は黒いスープでこってりと思いますが意外とさっぱりしておいしかった

たです。フルーツはドリアンなどがあり挑戦してみましたがやはりあの匂いはダメでした。でも、ヤシの実ジュースは最高でした。とにかくこの度の出張はすべてが初体験で勉強になりました。この出張で経験してきた事を今後の営業活動へ生かして行きたいと思います。(大阪営業所 佐々木淳)



(現地の自然)



(打ち合わせ風景)



(バクテー)



(ヤシの実ジュース)

編集メンバー



村尾修司



中嶋克宏



佐々木淳



成松静佳

「植林特集号2」いかがでしたでしょうか。

現地に訪問した4名、それぞれが環境問題について、もう一度深く考えるいい機会になったと思います。再生可能な資源の木材ではありますが、使うばかりではなく、木材を取り扱う企業として少しでも地球環境の為になる事に取り組んでいきたいと思っています。今回の出張記事作成にあたりご協力頂いた皆様に心より感謝いたします。

(SCM本部  
成松静佳)



選べるパレット 探せるパレット  
レンタルパレットの未来を切り拓く

ユーピーアール株式会社

- 東京本社 〒105-0004 東京都港区新橋6-9-4  
フロンテック新橋スタジオビル3F  
Tel : (03) 3435-9141 Fax : (03) 3435-9149
- 宇部本社 〒759-0134 山口県宇部市善和川東541-12  
Tel : (0836) 62-1112 Fax : (0836) 62-1417
- 営業所 札幌・仙台・東京・名古屋・大阪  
山口・福岡

UPR Corporation URL: <http://www.upr-net.co.jp>

トピックス 名古屋営業所が移転しました！！

●新事務所の住所  
〒460-0003  
愛知県名古屋市中区錦  
2丁目19番19号  
広小路センタープレイス4F  
Tel (052) 218-3346  
Fax (052) 218-3353

